

総務省承認	No. 2 3 6 4 4
承認期限	平成16年4月30日まで

指標コード					
局・ 取り まとめ セン ター	市区 町村 コード	調査区番号	業種コード	客体番号	従業者 規模別 コード

平成15年度食品産業動向調査  
 — トレーサビリティシステムの実施・導入状況等の実態 —  
 食 品 製 造 業 調 査 票

この調査は、農林水産省が、統計報告調整法第4条の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。

また、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことはありませんので、ありのままを記入してください。

(1) 企 業 名	(フリガナ)	
(2) 記入者所属 部署及び氏名	所属部署	(フリガナ)
		氏 名
(3) 電 話 番 号	代表番号 ( ) 局	番 (内線 )

- ☆ 上記の「記入者所属部署及び氏名」と「電話番号」について記入してください。  
 ☆ 上記の企業名に誤りがありましたら、正しい名称に修正してください。  
 ☆ 調査票の記入に当たっては、別冊の「調査票の記入の仕方」に従って、黒又は青のボールペンではっきりと記入してください。

— 問 い 合 わ せ 先 —

農林水産省	農政局	統計・情報センター
住 所		
担当者名		
電話番号	FAX番号	

貴社において、支社、支店、営業所、店舗等を持つ場合は、企業全体における状況や意向等についてお答えください。

I 貴社の概要について

- 1 平成15年中（平成15年1月～15年12月）に到来した直近の決算日前1年間の食品の販売総額（税込み）について、該当する番号を1つ選んで記入してください。

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1 5,000万円未満    | 2 5,000万円～1億円未満 |
| 3 1億円～10億円未満   | 4 10億円～50億円未満   |
| 5 50億円～100億円未満 | 6 100億円以上       |

100

- 2 平成16年1月1日現在の従業者数（常用雇用者）について、該当する番号を1つ選んで記入してください。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 0～4人   | 2 5～9人   |
| 3 10～19人 | 4 20～49人 |
| 5 50～99人 | 6 100人以上 |

200

注：常用雇用者とは、雇用期間の有無にかかわらず、雇用契約期間が1年以上の者をいいます。

II 貴社におけるトレーサビリティシステムについて（平成16年1月1日現在）

- 1 トレーサビリティシステムの現在の導入状況について、該当する番号を1つ選んで記入してください。

本調査におけるトレーサビリティシステムとは

製造した食品（製品）が、いつ、どこから仕入れた原材料で、いつ、どこで製造され、いつ、どこへ出荷したのか荷姿（ロット等）により特定できることを本調査ではトレーサビリティシステムが導入されていると定義します。

- |  |   |  |
|--|---|--|
| 1 上記のシステムが、 <u>すべての食品（製品）</u> に導入されている             | } | 2以降の回答をお願いします。<br>(3,4の方はその範囲内でお答えください。) |
| 2 上記のシステムが、 <u>一部の食品（製品）</u> に導入されている              |   |  |
| 3 上記のシステムを、 <u>今後導入する予定</u> である<br>(システムの構築等に着手)   | } | 6ページの<br>8、9のみ<br>回答してください。              |
| 4 上記のシステムの導入を <u>検討中</u> である<br>(導入のため検討中)         |   |  |
| 5 上記のシステムを導入する <u>予定はない</u><br>(社内で検討した結果導入の予定はない) | } | }  |
| 6 上記のシステムを導入する <u>かわからない</u><br>(導入するかしないかわからない)   |   |  |

300

- 2 トレーサビリティシステムの導入理由について、該当する番号のすべてに○を付けてください。（複数回答可）

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| 1 消費者の安全・安心意識の高まりへの対応    | ) |
| 2 取引先からの要求への対応           |   |
| 3 貴社の製造製品の安全性及び品質の向上への対応 |   |
| 4 販売戦略、事業戦略の一環           |   |
| 5 行政施策への対応               |   |
| 6 その他（具体的に：              |   |

410	1
420	2
430	3
440	4
450	5
460	6

### 3 食品の遡及、追跡について

貴社で製造している食品のうち、トレーサビリティシステムが導入されている食品及び導入予定の食品について、その食品の仕入れ原材料の情報（流通されてきた経路）はどこまでさかのぼり（遡及）が可能で、製造された食品は、どこまで追跡（自社の特定）することが可能ですか。

それぞれ該当する番号に○を付けてください。

（仕入先及び出荷先が複数該当する場合はそれぞれ回答願います。また、一部の食品（製品）で導入している（Ⅱの1で2に該当）場合は、現在、導入している食品（製品）に限って回答願います。）

コード		品目	仕入先の遡及範囲				出荷先の追跡範囲				
			1 生産者から直接仕入	生産者から直接仕入以外の仕入			5 小売・外食産業へ直接出荷	小売・外食産業へ直接出荷以外の出荷			
				2 生産者まで	3 直前の仕入先まで	4 その他(2、3以外の範囲)		6 小売・外食店等の最終出荷先まで	7 直後の出荷先まで	8 その他(6、7以外の範囲)	
仕入 原材 料	501	米	1	2	3	4					
	502	麦	1	2	3	4					
	503	野菜類	1	2	3	4					
	504	果実類	1	2	3	4					
	505	豚肉		2	3	4					
	506	鶏肉		2	3	4					
	507	鶏卵	1	2	3	4					
	508	豆類	1	2	3	4					
	509	養殖水産物	1	2	3	4					
出 荷 製 造 食 品	521	農 産 加 工 食 品	野菜缶詰・瓶詰					5	6	7	8
	522		果実缶詰・瓶詰					5	6	7	8
	523		つけもの					5	6	7	8
	524		野菜冷凍食品					5	6	7	8
	525		果実冷凍食品					5	6	7	8
	526		めん・パン類					5	6	7	8
	527		穀類加工品					5	6	7	8
	528		菓子類					5	6	7	8
	529		その他					5	6	7	8
	530	畜 加 工 食 品	肉製品					5	6	7	8
	531		乳製品					5	6	7	8
	532		その他					5	6	7	8
	533	水 産 加 工 食 品	水産缶詰・瓶詰					5	6	7	8
	534		ねり製品					5	6	7	8
	535		水産物冷凍食品					5	6	7	8
	536		その他					5	6	7	8
	537	調 味 料	みそ・醤油					5	6	7	8
	538		ソース					5	6	7	8
	539		食酢					5	6	7	8
	540		その他					5	6	7	8
	541	動植物油脂						5	6	7	8

注1：直後の出荷先が小売店や外食産業など直接消費者に渡る出荷先の場合は、「5小売・外食産業へ直接出荷」に該当する。

#### 4 トレーサビリティシステム導入後の情報の記録・保管等について

- (1) 記録・保管している情報の内容について、該当する番号のすべてに○を付けてください。  
(複数回答可)

610	原材料の栽培管理情報	1	670	製造食品の品質検査情報	7
620	原材料の仕入れ年月日	2	680	製造食品の出荷年月日	8
630	原材料の仕入先名	3	690	製造食品の出荷先名	9
640	原材料の仕入れ量	4	691	製造食品の出荷量	10
650	製造食品の製造年月日	5	692	製造食品の輸配送情報	11
660	製造食品の製造場所	6	693	その他	12

- (2) 情報の記録・保管方法について、該当する番号を1つ選んで記入してください。

- 1 パソコンを活用したシステム  
2 紙媒体  
3 システム・紙媒体による併用

700

- (3) (2)で1又は3を選んだ企業で、記録・保管で用いているシステムの連携の範囲について、該当する番号を1つ選んで記入してください。

- 1 貴社と仕入先  
2 貴社と出荷先  
3 貴社と仕入先及び出荷先  
4 貴社と仕入先以前の生産段階まで及び出荷先以降の小売段階までの範囲  
5 共同では行っていない  
6 その他 (具体的に： )

800

注：システムの連携とは、仕入先、出荷先とネットワークで結ばれ、その範囲では記録・保管しているデータの閲覧等が可能であることをいう。

#### 5 記録・保管している情報の伝達方法について

- ①仕入先から貴社への情報の伝達、②貴社から出荷先への情報の伝達方法について、それぞれ、該当する番号のすべてに○を付けてください。(複数回答可)

- 1 紙による方法 (伝票単位)  
2 包装資材への表示 (仕入・出荷食品への表示)  
3 バーコードによる方法  
4 二次元コードによる方法  
5 電子タグ (ICタグ) による方法  
6 その他 (具体的に：仕入の場合 )  
(具体的に：出荷の場合 )

①仕入先から貴社へ

910	1
920	2
930	3
940	4
950	5
960	6

②貴社から出荷先へ

970	1
980	2
990	3
991	4
992	5
993	6

## 6 記録・保管している情報の開示方法について

記録・保管している情報を一般消費者に開示する方法について、該当する番号のすべてに○を付けてください。（複数回答可）

- 1 ホームページ等インターネットを活用した方法
- 2 ラベル表示（紙）を活用した方法
- 3 電話やFAXを活用した方法
- 4 開示しない
- 5 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

1010	1
1020	2
1030	3
1040	4
1050	5

## 7 導入により生じたメリットと問題点について

（Ⅱの1で「1 すべての食品（製品）に導入」または「2 一部の食品（製品）に導入」を選択した方にお尋ねします。）

- (1) 導入されたことにより生じたメリットについて、該当する番号のすべてに○を付けてください。（複数回答可）

- 1 売り上げの増加
- 2 在庫管理等の管理業務の効率化及び仕入れ経費の削減等
- 3 取引先との信頼、関係強化
- 4 企業ブランドのイメージアップ
- 5 従業員の安全意識の向上
- 6 製造過程におけるリスク管理の効率化
- 7 取引先等からの照会に対する迅速かつ効率的な対応
- 8 特になし
- 9 導入後間もないためわからない
- 10 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

1110	1
1120	2
1130	3
1140	4
1150	5
1160	6
1170	7
1180	8
1190	9
1191	10

- (2) 導入時に生じた問題点について、該当する番号のすべてに○を付けてください。（複数回答可）

- 1 システム構築のための経費
- 2 システム構築のための取引先との合意取得等
- 3 システム構築のための情報、知識等の欠如
- 4 システム構築のための専門スタッフの確保
- 5 特になし
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

1210	1
1220	2
1230	3
1240	4
1250	5
1260	6

- (3) 導入後に生じた問題点について、該当する番号のすべてに○を付けてください。（複数回答可）

- 1 システム障害の多発
- 2 取引先と調整及び連携の不足
- 3 社員の教育・研修等の不足
- 4 特になし
- 5 導入後間もないためわからない
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

1310	1
1320	2
1330	3
1340	4
1350	5
1360	6

8 トレーサビリティシステムの導入の必要性について

(Ⅱの1で「5 予定はない」または「6 わからない」を選択した方にお尋ねします。)

(1) 導入の必要性について該当する番号を1つ選んで記入してください。

- 1 導入の必要性を感じている  
2 導入の必要性を感じていない

1400	
------	--

(2) どのような条件が整えば導入が図られるとお考えですか。  
該当する番号のすべてに○を付けてください。(複数回答可)

- 1 システム構築のための経費  
2 システム構築のための専門スタッフの確保  
3 同業他社への普及が進んだ場合  
4 取引先や消費者からの要請  
5 その他 (具体的に: )

1510	1
1520	2
1530	3
1540	4
1550	5

9 トレーサビリティシステムを今後普及していくための課題について

(全員の方にお尋ねします。)

トレーサビリティシステムを今後普及していくための課題について、  
該当する番号のすべてに○を付けてください。(複数回答可)

- 1 システム構築のための経費  
2 システム構築のための専門スタッフの確保  
3 システム構築時に必要となる情報の充実  
4 システムの情報の伝達方法・入力項目等の標準化  
5 関係者間の横断的な連携体制の確保 (フードチェーンのつながり)  
6 特になし  
7 その他 (具体的に: )

1610	1
1620	2
1630	3
1640	4
1650	5
1660	6
1670	7

質問は以上です。御協力ありがとうございました。

総務省承認	No 2 3 6 4 5
承認期限	平成16年4月30日まで

指標コード					
局・ 取り まとめ センター	市区 町村 コード	調査区番号	業種コード	客体番号	従業者 規模別 コード

平成15年度食品産業動向調査  
 — トレーサビリティシステムの実施・導入状況等の実態 —  
 食 品 卸 売 業 調 査 票

この調査は、農林水産省が、統計報告調整法第4条の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。

また、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことはありませんので、ありのままを記入してください。

(1) 企 業 名	(フリガナ)	
(2) 記入者所属 部署及び氏名	所属部署	(フリガナ)
		氏 名
(3) 電 話 番 号	代表番号 ( ) 局	番 (内線 )

- ☆ 上記の「記入者所属部署及び氏名」と「電話番号」について記入してください。
- ☆ 上記の企業名に誤りがありましたら、正しい名称に修正してください。
- ☆ 調査票の記入に当たっては、別冊の「調査票の記入の仕方」に従って、黒又は青のボールペンではっきりと記入してください。

— 問 い 合 わ せ 先 —

農林水産省	農政局	統計・情報センター
住 所	:	
担当者名	:	
電話番号	:	FAX番号 :

貴社において、支社、支店、営業所、店舗等を持つ場合は、企業全体における状況や意向等についてお答えください。

I 貴社の概要について

1 平成15年中（平成15年1月～15年12月）に到来した直近の決算日前1年間の食品の販売総額（税込み）について、該当する番号を1つ選んで記入してください。

- |   |             |   |               |                          |
|---|-------------|---|---------------|--------------------------|
| 1 | 5,000万円未満   | 2 | 5,000万円～1億円未満 | 100 <input type="text"/> |
| 3 | 1億円～10億円未満  | 4 | 10億円～30億円未満   |                          |
| 5 | 30億円～50億円未満 | 6 | 50億円以上        |                          |

2 平成16年1月1日現在の従業者数（常用雇用者）について、該当する番号を1つ選んで記入してください。

- |   |        |   |        |                          |
|---|--------|---|--------|--------------------------|
| 1 | 0～4人   | 2 | 5～9人   | 200 <input type="text"/> |
| 3 | 10～19人 | 4 | 20～49人 |                          |
| 5 | 50～99人 | 6 | 100人以上 |                          |

注：常用雇用者とは、雇用期間の有無にかかわらず、雇用契約期間が1年以上の者をいいます。

II 貴社におけるトレーサビリティシステムについて（平成16年1月1日現在）

1 トレーサビリティシステムの現在の導入状況について、該当する番号を1つ選んで記入してください。

本調査におけるトレーサビリティシステムとは

卸売した食品が、いつ、どこから仕入れ、いつ、どこへその食品を卸売したのか荷姿（ロット等）により特定できることを本調査ではトレーサビリティシステムが導入されていると定義します。

- |   |  |     |  |
|---|--|-----|--|
| 1 | 上記のシステムが、 <u>すべての食品</u> に導入されている                 | } → | 2以降の回答をお願いします。<br>(3,4の方はその範囲内でお答えください。) |
| 2 | 上記のシステムが、 <u>一部の食品</u> に導入されている                  |     |  |
| 3 | 上記のシステムを、今後導入する <u>予定</u> である<br>(システムの構築等に着手)   |     |  |
| 4 | 上記のシステムの導入を <u>検討中</u> である<br>(導入のため検討中)         |     |  |
| 5 | 上記のシステムを導入する <u>予定はない</u><br>(社内で検討した結果導入の予定はない) | } → | 6ページの8, 9のみ回答してください。                     |
| 6 | 上記のシステムを導入する <u>かわからない</u><br>(導入するかしないかわからない)   |     |  |

300

2 トレーサビリティシステムの導入理由について、該当する番号のすべてに○を付けてください。（複数回答可）

- 1 消費者の安全・安心意識の高まりへの対応
- 2 取引先からの要求への対応
- 3 貴社の卸売食品の安全性及び品質の向上への対応
- 4 販売戦略、事業戦略の一環
- 5 行政施策への対応
- 6 その他（具体的に：

)

410	1
420	2
430	3
440	4
450	5
460	6



### 3 食品の遡及、追跡について

貴社で卸売している食品のうち、トレーサビリティシステムが導入されている食品及び導入予定の食品について、その食品の情報(流通されてきた経路)はどこまでさかのぼり(遡及)が可能で、どこまで追跡(自社の特定)することが可能ですか。それぞれ該当する番号に○を付けてください。(仕入先及び出荷先が複数該当する場合はそれぞれ回答願います。

また、一部の食品で導入している(Ⅱの1で2に該当)場合は、現在、導入している食品に限って回答願います。)

コード		品目	仕入先の遡及範囲				出荷先の追跡範囲				
			1  生産者から直接仕入	生産者から直接仕入 以外の仕入			5  小売・外食産業へ直接出荷	小売・外食産業へ直接出荷 以外の出荷			
				2  生産者 (製造業者) まで	3  直前の仕 入先まで	4  その他 (2、3以 外の範囲)		6  小売・外 食店等の 最終出荷 先まで	7  直後の出 荷先まで	8  その他 (6、7 以外の範囲)	
生鮮食品	501	米	1	2	3	4	5	6	7	8	
	502	麦	1	2	3	4	5	6	7	8	
	503	野菜類	1	2	3	4	5	6	7	8	
	504	果実類	1	2	3	4	5	6	7	8	
	505	豚肉		2	3	4	5	6	7	8	
	506	鶏肉		2	3	4	5	6	7	8	
	507	鶏卵	1	2	3	4	5	6	7	8	
	508	豆類	1	2	3	4	5	6	7	8	
	509	養殖水産物	1	2	3	4	5	6	7	8	
加工食品	521	農産加工品	野菜缶詰・瓶詰		2	3	4	5	6	7	8
	522		果実缶詰・瓶詰		2	3	4	5	6	7	8
	523		つけもの		2	3	4	5	6	7	8
	524		野菜冷凍食品		2	3	4	5	6	7	8
	525		果実冷凍食品		2	3	4	5	6	7	8
	526		めん・パン類		2	3	4	5	6	7	8
	527		穀類加工品		2	3	4	5	6	7	8
	528		菓子類		2	3	4	5	6	7	8
	529		その他		2	3	4	5	6	7	8
	食品	530	畜加工食品	肉製品		2	3	4	5	6	7
531		乳製品			2	3	4	5	6	7	8
532		その他			2	3	4	5	6	7	8
533		水産加工食品	水産缶詰・瓶詰		2	3	4	5	6	7	8
534			ねり製品		2	3	4	5	6	7	8
535			水産物冷凍食品		2	3	4	5	6	7	8
536			その他		2	3	4	5	6	7	8
537		調味料	みそ・醤油		2	3	4	5	6	7	8
538			ソース		2	3	4	5	6	7	8
539			食酢		2	3	4	5	6	7	8
540	その他			2	3	4	5	6	7	8	
541	動植物油脂			2	3	4	5	6	7	8	

注1：直後の出荷先が小売店や外食産業など直接消費者に渡る出荷先の場合は、「5小売・外食産業へ直接出荷」に該当する。

注2：「仕入先の遡及範囲」の「2生産者(製造業者)まで」とは生鮮食品の場合は生産者まで、加工食品の場合は製造業者まで遡及できることをいう。

#### 4 トレーサビリティシステム導入後の情報の記録・保管等について

- (1) 記録・保管している情報の内容について、該当する番号のすべてに○を付けてください。  
(複数回答可)

610	卸売食品の栽培管理情報(生鮮のみ)	1
620	卸売食品の製造過程情報(加工のみ)	2
630	卸売食品の仕入れ年月日	3
640	卸売食品の仕入先名	4
650	卸売食品の仕入れ量	5
660	卸売食品の出荷年月日	6
670	卸売食品の出荷先名	7
680	卸売食品の出荷量	8
690	卸売食品の輸配送情報	9
691	その他	10

- (2) 情報の記録・保管方法について、該当する番号を1つ選んで記入してください。

- 1 パソコンを活用したシステム  
2 紙媒体  
3 システム・紙媒体による併用

700

- (3) (2)で1又は3を選んだ企業で、記録・保管で用いているシステムの連携の範囲について、該当する番号を1つ選んで記入してください。

- 1 貴社と仕入先  
2 貴社と出荷先  
3 貴社と仕入先及び出荷先  
4 貴社と仕入先以前の生産段階まで及び出荷先以降の小売段階までの範囲  
5 共同では行っていない  
6 その他 (具体的に: )

800

注: システムの連携とは、仕入先、出荷先とネットワークで結ばれ、その範囲では記録・保管しているデータの閲覧等が可能であることをいう。

#### 5 記録・保管している情報の伝達方法について

- ①仕入先から貴社への情報の伝達、②貴社から出荷先への情報の伝達方法について、それぞれ、該当する番号のすべてに○を付けてください。(複数回答可)

- 1 紙による方法(伝票単位)  
2 包装資材への表示(仕入・卸売食品への表示)  
3 バーコードによる方法  
4 二次元コードによる方法  
5 電子タグ(ＩＣタグ)による方法  
6 その他(具体的に: 仕入の場合)  
(具体的に: 出荷の場合)

①仕入先から貴社へ

910	1
920	2
930	3
940	4
950	5
960	6

②貴社から出荷先へ

970	1
980	2
990	3
991	4
992	5
993	6

## 6 記録・保管している情報の開示方法について

記録・保管している情報を一般消費者に開示する方法について、該当する番号のすべてに○を付けてください。（複数回答可）

- 1 ホームページ等インターネットを活用した方法
- 2 ラベル表示（紙）を活用した方法
- 3 電話やFAXを活用した方法
- 4 開示はしない
- 5 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

1010	1
1020	2
1030	3
1040	4
1050	5

## 7 導入により生じたメリットと問題点について

（Ⅱの1で「1 すべての食品に導入」または「2 一部の食品に導入」を選択した方にお尋ねします。）

- (1) 導入されたことにより生じたメリットについて、該当する番号のすべてに○を付けてください。（複数回答可）

- 1 売り上げの増加
- 2 在庫管理等の管理業務の効率化及び仕入れ経費の削減等
- 3 取引先との信頼、関係強化
- 4 企業ブランドのイメージアップ
- 5 従業員の安全意識の向上
- 6 卸売過程におけるリスク管理の効率化
- 7 取引先等からの照会に対する迅速かつ効率的な対応
- 8 特になし
- 9 導入後間もないためわからない
- 10 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

1110	1
1120	2
1130	3
1140	4
1150	5
1160	6
1170	7
1180	8
1190	9
1191	10

- (2) 導入時に生じた問題点について、該当する番号のすべてに○を付けてください。（複数回答可）

- 1 システム構築のための経費
- 2 システム構築のための取引先との合意取得等
- 3 システム構築のための情報、知識等の欠如
- 4 システム構築のための専門スタッフの確保
- 5 特になし
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

1210	1
1220	2
1230	3
1240	4
1250	5
1260	6

- (3) 導入後に生じた問題点について、該当する番号のすべてに○を付けてください。（複数回答可）

- 1 システム障害の多発
- 2 取引先と調整及び連携の不足
- 3 社員の教育・研修等の不足
- 4 特になし
- 5 導入後間もないためわからない
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

1310	1
1320	2
1330	3
1340	4
1350	5
1360	6

8 トレーサビリティシステムの導入の必要性について

(Ⅱの1で「5 予定はない」または「6 わからない」を選択した方にお尋ねします。)

(1) 導入の必要性について該当する番号を1つ選んで記入してください。

- 1 導入の必要性を感じている
- 2 導入の必要性を感じていない

1400	
------	--

→(2) どのような条件が整えば導入が図られるとお考えですか。  
該当する番号のすべてに○を付けてください。(複数回答可)

- 1 システム構築のための経費
- 2 システム構築のための専門スタッフの確保
- 3 同業他社への普及が進んだ場合
- 4 取引先や消費者からの要請
- 5 その他 (具体的に: )

1510	1
1520	2
1530	3
1540	4
1550	5

9 トレーサビリティシステムを今後普及していくための課題について  
(全員の方にお尋ねします。)

トレーサビリティシステムを今後普及していくための課題について、  
該当する番号のすべてに○を付けてください。(複数回答可)

- 1 システム構築のための経費
- 2 システム構築のための専門スタッフの確保
- 3 システム構築時に必要となる情報の充実
- 4 システムの情報の伝達方法・入力項目等の標準化
- 5 関係者間の横断的な連携体制の確保 (フードチェーンのつながり)
- 6 特になし
- 7 その他 (具体的に: )

1610	1
1620	2
1630	3
1640	4
1650	5
1660	6
1670	7

質問は以上です。御協力ありがとうございました。

総務省承認	No. 2 3 6 4 6
承認期限	平成16年4月30日まで

指標コード					
局・ 取り まとめ セン ター	市区 町村 コード	調査区番号	業種コード	客体番号	従業者 規模別 コード

平成15年度食品産業動向調査  
 — トレーサビリティシステムの実施・導入状況等の実態 —  
 食 品 小 売 業 調 査 票

この調査は、農林水産省が、統計報告調整法第4条の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。  
 また、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことはありませんので、ありのままを記入してください。

(1) 企 業 名	(フリガナ)	
(2) 記入者所属 部署及び氏名	所属部署	(フリガナ)
		氏 名
(3) 電 話 番 号	代表番号 ( ) 局	番 (内線 )

- ☆ 上記の「記入者所属部署及び氏名」と「電話番号」について記入してください。  
 ☆ 上記の企業名に誤りがありましたら、正しい名称に修正してください。  
 ☆ 調査票の記入に当たっては、別冊の「調査票の記入の仕方」に従って、黒又は青のボールペンではっきりと記入してください。

— 問 い 合 わ せ 先 —

農林水産省	農政局	統計・情報センター
住 所	:	
担当者名	:	
電話番号	:	FAX番号 :

貴社において、支社、支店、営業所、店舗等を持つ場合は、  
企業全体における状況や意向等についてお答えください。

I 貴社の概要について

1 平成15年中（平成15年1月～15年12月）に到来した直近の決算日前1年間の食品の販売総額（税込み）について、該当する番号を1つ選んで記入してください。

- |   |             |   |               |
|---|-------------|---|---------------|
| 1 | 5,000万円未満   | 2 | 5,000万円～1億円未満 |
| 3 | 1億円～10億円未満  | 4 | 10億円～30億円未満   |
| 5 | 30億円～50億円未満 | 6 | 50億円以上        |

100

2 平成16年1月1日現在の従業者数（常用雇用者）について、該当する番号を1つ選んで記入してください。

- |   |        |   |        |
|---|--------|---|--------|
| 1 | 0～4人   | 2 | 5～9人   |
| 3 | 10～19人 | 4 | 20～49人 |
| 5 | 50～99人 | 6 | 100人以上 |

注：常用雇用者とは、雇用期間の有無にかかわらず、雇用契約期間が1年以上の者をいいます。

200

II 貴社におけるトレーサビリティシステムについて（平成16年1月1日現在）

1 トレーサビリティシステムの現在の導入状況について、該当する番号を1つ選んで記入してください。

本調査におけるトレーサビリティシステムとは

小売した食品が、いつ、どこから仕入れ、いつ、その食品の小売をしたのか特定できることを本調査ではトレーサビリティシステムが導入されていると定義します。

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 上記のシステムが、 <u>すべての食品</u> に導入されている                 |
| 2 | 上記のシステムが、 <u>一部の食品</u> に導入されている                  |
| 3 | 上記のシステムを、今後 <u>導入する予定</u> である<br>(システムの構築等に着手)   |
| 4 | 上記のシステムの導入を <u>検討中</u> である<br>(導入のため検討中)         |
| 5 | 上記のシステムを導入する <u>予定はない</u><br>(社内で検討した結果導入の予定はない) |
| 6 | 上記のシステムを導入する <u>かわからない</u><br>(導入するかしないかわからない)   |

2以降の回答をお願いします。  
(3,4の方はその範囲内でお答えください。)

6ページの8, 9のみ回答してください。

300

2 トレーサビリティシステムの導入理由について、該当する番号のすべてに○を付けてください。（複数回答可）

- |   |                        |
|---|------------------------|
| 1 | 消費者の安全・安心意識の高まりへの対応    |
| 2 | 取引先からの要求への対応           |
| 3 | 貴社の小売食品の安全性及び品質の向上への対応 |
| 4 | 販売戦略、事業戦略の一環           |
| 5 | 行政施策への対応               |
| 6 | その他 (具体的に：             |

410	1
420	2
430	3
440	4
450	5
460	6

### 3 食品の遡及について

貴社で販売している食品のうち、トレーサビリティシステムが導入されている食品及び導入予定の食品について、その食品の情報（流通されてきた経路）はどこまでさかのぼり（遡及）が可能ですか。それぞれ該当する番号に○を付けてください。

（複数該当する場合は複数回答願います。また、一部の食品で導入している（Ⅱの12に該当）場合は、現在、導入している食品に限って回答願います。）

コード		品 目		仕 入 先 の 選 及 範 囲			
				1 生産者から直接仕入	生産者から直接仕入以外の仕入		
					2 生産者（製造業者）まで	3 直前の仕入先まで	4 その他（2、3以外の選及範囲）
生 鮮 食 品	501	米	1	2	3	4	
	502	麦	1	2	3	4	
	503	野菜類	1	2	3	4	
	504	果実類	1	2	3	4	
	505	豚肉		2	3	4	
	506	鶏肉		2	3	4	
	507	鶏卵	1	2	3	4	
	508	豆類	1	2	3	4	
	509	養殖水産物	1	2	3	4	
加 工 食 品	521	農 産 加 工 食 品	野菜缶詰・瓶詰		2	3	4
	522		果実缶詰・瓶詰		2	3	4
	523		つけもの		2	3	4
	524		野菜冷凍食品		2	3	4
	525		果実冷凍食品		2	3	4
	526		めん・パン類		2	3	4
	527		穀類加工品		2	3	4
	528		菓子類		2	3	4
	529		その他		2	3	4
	530	畜 加 工 食 品	肉製品		2	3	4
	531		乳製品		2	3	4
	532		その他		2	3	4
	533	水 産 加 工 食 品	水産缶詰・瓶詰		2	3	4
	534		ねり製品		2	3	4
	535		水産物冷凍食品		2	3	4
	536		その他		2	3	4
	537	調 味 料	みそ・醤油		2	3	4
	538		ソース		2	3	4
	539		食酢		2	3	4
	540		その他		2	3	4
	541	動植物油脂			2	3	4

注1：「仕入先の遡及範囲」の「2生産者（製造業者）まで」とは生鮮食品の場合は生産者まで、加工食品の場合は製造業者まで遡及できることをいう。

#### 4 トレーサビリティシステム導入後の情報の記録・保管等について

- (1) 記録・保管している情報の内容について、該当する番号のすべてに○を付けてください。  
(複数回答可)

610	小売食品の栽培管理情報(生鮮のみ)	1
620	小売食品の製造過程情報(加工のみ)	2
630	小売食品仕入れ年月日	3
640	小売食品仕入れ先名	4
650	小売食品仕入れ量	5
660	小売食品保存方法	6
670	小売年月日	7
680	小売食品の輸配送情報	8
690	その他	9

- (2) 情報の記録・保管方法について、該当する番号を1つ選んで記入してください。

- 1 パソコンを活用したシステム  
2 紙媒体  
3 システム・紙媒体による併用

700	
-----	--

- (3) (2)で1又は3を選んだ企業で、記録・保管で用いているシステムの連携の範囲について、該当する番号を1つ選んで記入してください。

- 1 貴社と仕入先  
2 貴社と生産段階以降の流通段階との範囲  
3 貴社と生産段階までの範囲  
4 共同では行っていない  
5 その他 (具体的に: )

800	
-----	--

注：システムの連携とは、仕入先とネットワークで結ばれ、その範囲では記録・保管しているデータの閲覧等が可能であることをいう。

#### 5 記録・保管している情報の伝達方法について

仕入先から貴社への情報の伝達方法について、該当する番号のすべてに○を付けてください。  
(複数回答可)

- 1 紙による方法(伝票単位)  
2 包装資材への表示(仕入・小売食品への表示)  
3 バーコードによる方法  
4 二次元コードによる方法  
5 電子タグ(ＩＣタグ)による方法  
6 その他 (具体的に: )

仕入先から貴社へ

910	1
920	2
930	3
940	4
950	5
960	6



## 6 記録・保管している情報の開示方法について

記録・保管している情報を一般消費者に開示する方法について、該当する番号のすべてに○を付けてください。（複数回答可）

- 1 タッチパネルを活用した方法
- 2 ホームページ等インターネットを活用した方法
- 3 店頭表示やラベル表示（紙）を活用した方法
- 4 電話やFAXを活用した方法
- 5 開示はしない
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

1010	1
1020	2
1030	3
1040	4
1050	5
1060	6

## 7 導入により生じたメリットと問題点について

（Ⅱの1で「1 すべての食品に導入」または「2 一部の食品に導入」を選択した方にお尋ねします。）

- (1) 導入されたことにより生じたメリットについて、該当する番号のすべてに○を付けてください。（複数回答可）

- 1 売り上げの増加
- 2 在庫管理等の管理業務の効率化及び仕入れ経費の削減等
- 3 取引先との信頼、関係強化
- 4 企業ブランドのイメージアップ
- 5 従業員の安全意識の向上
- 6 消費者等からの照会に対する迅速かつ効率的な対応
- 7 特になし
- 8 導入後間もないためわからない
- 9 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

1110	1
1120	2
1130	3
1140	4
1150	5
1160	6
1170	7
1180	8
1190	9

- (2) 導入時に生じた問題点について、該当する番号のすべてに○を付けてください。（複数回答可）

- 1 システム構築のための経費
- 2 システム構築のための取引先との合意取得等
- 3 システム構築のための情報、知識等の欠如
- 4 システム構築のための専門スタッフの確保
- 5 特になし
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

1210	1
1220	2
1230	3
1240	4
1250	5
1260	6

- (3) 導入後に生じた問題点について、該当する番号のすべてに○を付けてください。（複数回答可）

- 1 システム障害の多発
- 2 取引先と調整及び連携の不足
- 3 社員の教育・研修等の不足
- 4 特になし
- 5 導入後間もないためわからない
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

1310	1
1320	2
1330	3
1340	4
1350	5
1360	6

8 トレーサビリティシステムの導入の必要性について

(Ⅱの1で「5 予定はない」または「6 わからない」を選択した方にお尋ねします。)

(1) 必要性について該当する番号の1つ選んで記入してください。

- 1 導入の必要性を感じている  
2 導入の必要性を感じていない

1400

(2) どのような条件が整えば導入が図られるとお考えですか。  
該当する番号のすべてに○を付けてください。(複数回答可)

- 1 システム構築のための経費  
2 システム構築のための専門スタッフの確保  
3 同業他社への普及が進んだ場合  
4 取引先や消費者からの要請  
5 その他 (具体的に: )

1510	1
1520	2
1530	3
1540	4
1550	5

9 トレーサビリティシステムを今後普及していくための課題について

(全員の方にお尋ねします。)

トレーサビリティシステムを今後普及していくための課題について、  
該当する番号のすべてに○を付けてください。(複数回答可)

- 1 システム構築のための経費  
2 システム構築のための専門スタッフの確保  
3 システム構築時に必要となる情報の充実  
4 システムの情報の伝達方法・入力項目等の標準化  
5 関係者間の横断的な連携体制の確保 (フードチェーンのつながり)  
6 特になし  
7 その他 (具体的に: )

1610	1
1620	2
1630	3
1640	4
1650	5
1660	6
1670	7

質問は以上です。御協力ありがとうございました。

総務省承認	No. 2 3 6 4 7
承認期限	平成16年4月30日まで

指標コード		
局・ 取り まとめ セン ター	市区 町村 コード	客体番号

平成15年度食品産業動向調査  
 — トレーサビリティシステムの実施・導入状況等の実態 —  
 農 業 協 同 組 合 調 査 票

この調査は、農林水産省が、統計報告調整法第4条の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。

また、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことはありませんので、ありのままを記入してください。

(1) 組 合 名	(フリガナ)	
(2) 記入者所属 部署及び氏名	所属部署	(フリガナ)
		氏 名
(3) 電 話 番 号	代表番号 (      )	局 番 (内線      )

- ☆ 上記の「記入者所属部署及び氏名」と「電話番号」について記入してください。
- ☆ 上記の企業名に誤りがありましたら、正しい名称に修正してください。
- ☆ 調査票の記入に当たっては、別冊の「調査票の記入の仕方」に従って、黒又は青のボールペンではっきりと記入してください。

— 問 い 合 わ せ 先 —

農林水産省	農政局	統計・情報センター
住 所 : _____		
担当者名 : _____		
電話番号 : _____	FAX番号 : _____	

以下設問については、貴組合(支所・支店を含む)における、状況や意向等についてお答えください。

# I 貴農協での集出荷品目について

貴農協での集出荷品目はどのようなものがありますか該当する番号のすべてに○を付けてください。

品目	米	麦	野菜類	果実類	豆類	その他
110	1	2	3	4	5	6

# II 貴農協で集出荷している品目の栽培管理情報の記録・保管について(平成16年1月1日現在)

- 1 現在の栽培管理情報の記録・保管状況について品目別に該当する番号に○を付けてください。  
(集出荷している品目は生産者名及びそれ以外の栽培管理情報の状況について該当する番号に○を付けてください。生産者名のみである場合についても1及び4～7のいずれかに○を付けてください)

コード	品目	生産者名以外の栽培管理情報						
		1 生産者名のみ	2 集出荷している全てについて何らかの情報を記録・保管している	3 集出荷している一部について何らかの情報を記録・保管している	4 今後行う予定	5 検討中	6 予定はない	7 分からない
201	米	1	2	3	4	5	6	7
202	麦	1	2	3	4	5	6	7
203	野菜類	1	2	3	4	5	6	7
204	果実類	1	2	3	4	5	6	7
205	豆類	1	2	3	4	5	6	7
206	その他 ( )	1	2	3	4	5	6	7

注1:「その他」には主な品目がある場合は、品目名を記入し該当する番号に○を付けてください。

- 2 記録・保管している栽培管理情報(生産者名以外)はどのようなものですか。  
該当する番号のすべてに○を付けてください。(複数回答可)

コード	品目	生産者名以外の栽培管理情報			
		1 生産概要	2 防除履歴	3 施肥履歴	4 その他 具体的に 〔 〕
301	米	1	2	3	4
302	麦	1	2	3	4
303	野菜類	1	2	3	4
304	果実類	1	2	3	4
305	豆類	1	2	3	4
306	その他	1	2	3	4

注2:栽培管理情報とは、

- ①生産概要…産地名、は種日、収穫日等  
②防除履歴…防除資材名、施用日、施用量等  
③施肥履歴…施肥資材名、施用日、施用量等  
等の情報である。

3 栽培管理情報（生産者名を含む）の記録・保管方法について、該当する番号を1つ選んで記入してください。

- 1 パソコンを活用したシステム
- 2 紙媒体
- 3 システム・紙媒体併用

401

### Ⅲ 出荷品目の追跡状況について

1 貴農協で出荷される品目は栽培管理情報（生産者名を含む）を付加して出荷されていますか。該当する番号を1つ選んで記入してください。

- 1 生産者名のみ付加
- 2 栽培管理情報（一部でも可）を付加
- 3 付加していない（農協名のみ）

→ 2以降の設問へ

→ VIIの設問へ

501

2 貴組合において栽培管理情報（生産者名を含む）を付加して出荷された品目は、どこまで出荷されているかわかりますか（追跡できますか）。

生産者名のみが付加されて出荷されている場合と、生産者名以外の栽培管理情報も付加されている場合に分けて、該当する番号に○を付けてください。（複数回答可）

コード	品目	区 分	出荷先がわかる範囲（追跡の範囲）			
			1 小売・外食産業へ直接出荷したもの	小売・外食産業以外へ出荷		
				2 小売・外食産業等の最終出荷先まで	3 直後の出荷先まで	4 その他（2, 3以外の範囲）
601	米	生産者名のみが付加	1	2	3	4
602		栽培管理情報が付加	1	2	3	4
603	麦	生産者名のみが付加	1	2	3	4
604		栽培管理情報が付加	1	2	3	4
605	野菜類	生産者名のみが付加	1	2	3	4
606		栽培管理情報が付加	1	2	3	4
607	果実類	生産者名のみが付加	1	2	3	4
608		栽培管理情報が付加	1	2	3	4
609	豆類	生産者名のみが付加	1	2	3	4
610		栽培管理情報が付加	1	2	3	4
611	その他	生産者名のみが付加	1	2	3	4
612		栽培管理情報が付加	1	2	3	4

注1：「生産者名のみが付加」とは、出荷ロット等に農協名及び生産者名のみ付加されて出荷されていることをいう。

注2：直後の出荷先が小売店や外食産業など直接消費者に渡る出荷先の場合は、「1「小売・外食産業へ直接出荷」」に該当する。

注3：追跡の範囲が複数ある場合は、それぞれ毎に○を付けてください。

注4：一部の品目でも追跡の範囲に該当する場合は、それぞれ毎に○を付けてください。

3 なぜ、栽培管理情報（生産者名を含む）を付加して出荷できる仕組みを行うこととしましたか。該当する番号のすべてに○を付けてください。（複数回答可）

- 1 消費者の安全・安心意識の高まりへの対応
- 2 貴農協の出荷品目の安全性及び品質の向上への対応
- 3 販売戦略、事業戦略の一環（出荷品目のイメージアップ）
- 4 取引先からの要求への対応
- 5 行政施策への対応
- 6 その他（具体的に：  ）

701	1
702	2
703	3
704	4
705	5
706	6

#### IV 情報の伝達方法について

付加された情報の出荷先への伝達方法はどのような媒体を利用していますか。  
該当する番号のすべてに○を付けてください。(複数回答可)

- 1 紙による方法(伝票単位)
- 2 包装資材への表示(出荷物への表示)
- 3 バーコードによる方法
- 4 二次元コードによる方法
- 5 電子タグ(ＩＣタグ)による方法
- 6 その他(具体的に: )

801	1
802	2
803	3
804	4
805	5
806	6

#### V 一般消費者への情報の開示について

記録・保管している情報を一般消費者に開示する方法についてお尋ねします。  
該当する番号のすべてに○を付けてください。(複数回答可)

- 1 ホームページ等インターネットを活用した方法
- 2 ラベル表示(紙)を活用した方法
- 3 電話やFAXを活用した方法
- 4 開示はしない
- 5 その他(具体的に: )

901	1
902	2
903	3
904	4
905	5

#### VI 栽培管理情報の記録・保管の整備を図るための課題について

(Ⅱの1で「4、5、6、7」のみに○を付けた方にお尋ねします。)

今後、記録・保管の整備を図るためにはどのような課題がありますか。  
該当する番号のすべてに○を付けてください。(複数回答可)

- 1 組合員の合意形成を図る(組合員の情報の記録活動のための理解)
- 2 生産者段階の栽培管理情報のデータ記帳等の労力
- 3 栽培管理情報の入力項目等の標準化
- 4 システムに係る経費負担
- 5 システムに係る専門スタッフの確保
- 6 上部団体による意思決定
- 7 その他(具体的に: )

1001	1
1002	2
1003	3
1004	4
1005	5
1006	6
1007	7

#### VII 追跡が行える仕組みの整備を図るための課題について

(現在、追跡が行える仕組みを整備していない方にお尋ねします。)

今後、情報を付加して追跡が行える仕組みの整備を図るためにはどのような課題がありますか。該当する番号のすべてに○を付けてください。(複数回答可)

- 1 機器整備等のための経費負担
- 2 仕組みを構築するための専門スタッフの確保
- 3 同業他団体とのシステムの連携
- 4 出荷先や消費者からの理解・協力
- 5 上部団体による意思決定
- 6 その他(具体的に: )

1101	1
1102	2
1103	3
1104	4
1105	5
1106	6

質問は以上です。御協力ありがとうございました。